

サステナビリティ経営の推進

▶ サステナビリティの基本的な考え方

当社グループは、持続可能な社会（サステナビリティ）実現に向け、社会課題解決を通じた貢献を念頭に、事業活動を進めています。当社グループの企業活動を持続可能なものとするためには、社会からの信頼の獲得・向上が不可欠であり、サステナブル対応製品やTCFD提言に沿った情報開示、地域社会への貢献、多様な働き方の実現に向けた取り組み等を推進しています。

▶ サステナビリティに関するガイドライン

当社グループは、健全で透明性の高い経営と事業活動により、企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の形成に貢献するよう努めます。

- 1 すべてのステークホルダーとの対話を重視し、企業の透明性を高め、社会的責任を果たします。
- 2 当社製品・サービスの提供により、持続可能な社会の形成に貢献します。
- 3 従業員の基本的人権、多様性を尊重し、安全、健康が確保でき、働きがいのある職場の構築に努めます。
- 4 社会貢献活動を通じて従業員の成長と持続可能な社会の形成に貢献します。

▶ サステナビリティマネジメント体制

サステナビリティに関する活動は代表取締役社長を委員長とする取締役会の下部組織であるサステナビリティ経営推進委員会を中心に行っています。委員は全社各部署から偏りなく任命し、サステナビリティの実現に向け真摯に取り組めるよう体制を整えています。サステナビリティに関する活動計画や進捗状況については、定期的に取締役会に答申し、取締役会にて監督・意思決定を行っています。

サステナビリティ経営推進委員会

議長
代表取締役社長

開催頻度
原則四半期毎

主な役割

- サステナビリティ関連のリスク・機会への対応に関する審議
- 下記の具体的な対応・取り組みに関する審議、進捗確認
 - ・ロードマップ検討および課題対応支援
 - ・社会貢献活動
 - ・サプライチェーンマネジメント
 - ・環境・安全
 - ・リスクマネジメント
 - ・人的資本関連
- 取締役会への報告

2025年度主な活動内容

サステナビリティ経営推進委員会は2025年度に4回開催しました。当委員会傘下の実行部隊としてテーマ毎に組成されたチームの活動内容の進捗確認や今後の方向性等について議論を行っています。

1 サステナビリティロードマップ策定

気候変動、人的資本、人権、生物多様性の観点から、2030年までに当社が取り組むべき内容を整理し、優先度、重要度を設定したロードマップを策定しました。今後はロードマップに沿って、サステナビリティに関する取り組みを進めてまいります。

2 社会貢献活動

総合色彩化学メーカーとしてできる社会貢献活動について議論し、毎年、活動範囲を広げています。また、活動の参加者については社内公募制度を活用することで全社的な取り組みになるようにしています。
2025年度の取り組み事例は社会貢献のページをご参照ください。

3 サプライチェーンマネジメント対応

パートナーシップ構築宣言に沿った活動として中小受託取引適正化法への対応を進めました。また、改正物流効率化法への対応として、必要な取り組みを進めています。

各種方針はWEBサイトでご確認ください。

▶▶ 人権の尊重



▶▶ 調達基本方針

